経済産業省 令和8年度ヘルスケア産業基盤高度化推進事業
（地域におけるヘルスケア産業推進事業）

# 産福共創相談窓口
## 設置のお知らせ

経済産業省では、地域の高齢者福祉課題解決と事業収益性確保の両立を実現するため、高齢者・介護関連サービス産業と地域の高齢福祉関係者が連携・共創する「産福共創モデル」の普及、拡大を推進しています。このたび、「産福共創」に取り組もうとする企業や自治体の相談を受け付ける、「産福共創相談窓口」を設置しましたので、ご案内します。

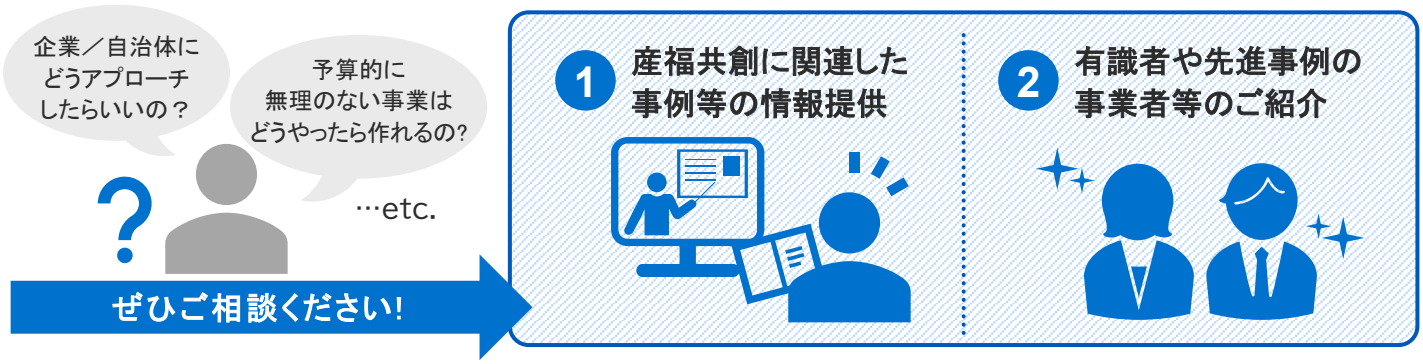
### 産福共創とは?

産福共創とは、民間企業等が自治体を始めとした福祉関係者と連携・共創することにより、地域の福祉課題解決と事業収益性の確保の両立を実現し、持続的に地域の課題を解決する仕組みづくりを目指すことを指します。
（事例や取組パターンは裏面参照）




### 相談窓口でできること

産福共創相談窓口では、産福共創に取り組もうとする民間企業や自治体を対象に、産福共創に取り組むにあたって必要な情報提供や類似した取り組みを行う事業者、学識等の専門家の紹介を行います。




| | |
|---|---|
| 対象者 | 産福共創に取り組もうとする、自治体行政、福祉・介護事業者、民間事業者（NPO等含む）等 |
| 相談期間・日時 | 2026年7月17日（金）～2027年3月12日（金）<br>原則平日9時～17時（メールの場合は、これに限りません） |
| 場所 | 原則オンライン会議（Webex）およびメール |
| 費用 | 無料<br>※ 利用回数に制限はありませんが、初回利用の方を優先する場合がございます。<br>※ 継続的なご支援や有識者への伴走支援等を依頼される場合には、内容によって費用が生じることがございます。 |

**産福共創相談窓口** https://www.jri.co.jp/seminar/260717_710/detail/

「産福共創相談窓口」記載のメールアドレス宛に、以下を記載の上メールにてご連絡ください
件名：【問合せ】産福共創_〇〇（企業名/自治体名）
本文：①企業名/自治体名、②役職・担当者名、③連絡先（電話・メールアドレス）、④お問合せ内容

※ 本相談窓口は、経済産業省 R8年度ヘルスケア産業基盤高度化推進事業（地域におけるヘルスケア産業推進事業）の一環として、(株)日本総合研究所が実施しています。

# 産福共創の事例

## 1 チョイソコ（オンデマンド型乗合送迎サービス）

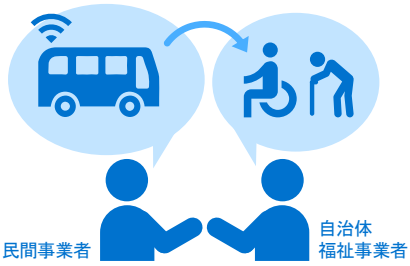
| | | | |
|---|---|---|---|
| 地域 | 愛知県豊明市、愛知県岡崎市など全国66自治体（R6.7時点） | 連携先 | 株式会社アイシン |
| 概要 | • 豊明市と（株）アイシンが開発した予約制の乗合送迎サービス<br>• 利用者から乗車料金と事業に賛同する地域の企業からのスポンサー料で運営 | | |
| 共創 | 近隣施設の送迎サービスと共同運行した方がよいのではないかとの市の職員の発想から<br>移動サービス開発を検討していた（株）アイシンと豊明市が構想段階から共同で開発に取り組んだ。<br>豊明市での実証実験・本格運用への移行を経て、全国に展開された。 | | |
| 効果 | 2019年度グッドデザイン特別賞「グッドフォーカス賞（新ビジネスデザイン）」を受賞。全国の市町村にサービスが拡大中。 | | |

## 2 ヤクルトレディ×コミュニティナースによる相互扶助インフラ共創事業

| | | | |
|---|---|---|---|
| 地域 | 兵庫県播磨町 | 連携先 | 兵庫ヤクルト |
| 概要 | • ヤクルトレディの訪問時、生活上の関わりが必要と感じた地域住民に対して、コミュニティナースが訪問し、ヒアリングを行う。<br>• 希望する生活実現のため、活用可能な地域資源の紹介を行うとともに、必要に応じて播磨町にも情報共有し公的支援に接続。 | | |
| 共創 | 公的支援が行き届きにくい高齢住民へのアプローチについて、地域密着企業の兵庫ヤクルトが協同提案を行った。 | | |
| 効果 | 自治体では把握しきれない住民の生活課題の収集・共有ができた。<br>ヤクルトレディの新規顧客増、顧客継続等による収益確保につながった。 | | |

## 「産福共創」の取組パターン

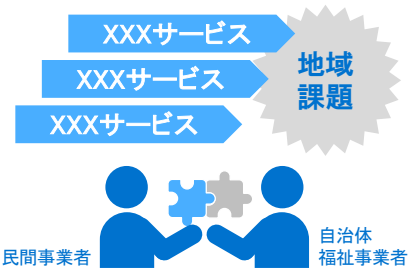
**1** 民間企業が提供している既存事業を福祉関係者とともに高齢者顧客向けにカスタマイズ




**2** 民間企業等と福祉関係者にて新規事業を開発




**3** 民間企業等と福祉関係者がともに地域課題解決に必要なサービス等を実装




## ▶関連資料のご案内

### 産福共創に向けたポイント集

「産福共創」とは何かについて解説するとともに、産福共創の実現に向けたポイントを自治体目線/民間企業目線のそれぞれからまとめました。事例集と自治体・民間企業の担当者にご活用いただけるワークシート付です。ぜひご活用ください。

**事例**

- 乗合送迎サービス チョイソコ
  愛知県豊明市×株式会社アイシン
- コミュニティスペース「ウエルカフェ」移動販売「うえたん号」
  埼玉県行田市×ウエルシア薬局株式会社
- グリーンスローモビリティ
  奈良県王寺町×ヤマハ発動機株式会社

### 令和7年度「産福共創モデル創出事業」成果報告書

実証事業を実施した5つの事業について、事業の創出プロセスから効果、課題等を詳細に紹介しています。

**掲載事業**

- NPO法人CLEAR「ALLライフサポート事業」／広島県東広島市
- 社会医療法人 仁寿会「医療・福祉事業者による高齢者向けサービス・高齢者送迎サービスの共同提供モデル事業」／島根県川本町
- 兵庫ヤクルト販売株式会社「播磨町でのヤクルトレディ×コミュニティナースによる相互扶助インフラ共創事業」／兵庫県播磨町
- 社会福祉法人宗越福祉会「就労と日常生活を両立する高齢者ライフ支援サービス創出」／広島県竹原市
- 株式会社リージョナルマーケティング「地域連携型高齢者健康状態の見守り・介護予防支援モデル」／北海道日高町

出典：経済産業省「産福共創に向けたポイント集」・「令和7年度「産福共創モデル創出事業」成果報告書」をもとに株式会社日本総合研究所作成

**産福共創全般に関するお問合せ先**

経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課　bzl-kaigo.community@meti.go.jp